

研修責任者等研修事業 都道府県名（愛媛県）
（教育担当者研修）

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 (1)

2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

○利用しやすさ(場所・機器の整備・広さ等)
県の中心部(県庁所在地)である松山で開催することで少しでも多くの方が受講できるようにした。
教育担当者と実地指導者を研修対象として設定していたため、人数が多くなる事を予想して、受講希望者をすべて受け入れできる会場を準備した。

3. 研修開催回数 延べ(1)

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)
(開催回別に記入してください)

| 開催回 | 応募者数 | 受講者数 |
|-----|----------|----------|
| 第1回 | (112)名 | (107)名 |
| 第2回 | ()名 | ()名 |
| 第3回 | ()名 | ()名 |

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

| 施設種別 | 応募者数 | 受講者数 |
|------------|----------|----------|
| 病院 | (112)名 | (107)名 |
| 診療所 | ()名 | ()名 |
| 助産所 | ()名 | ()名 |
| 介護老人保健施設 | ()名 | ()名 |
| 指定訪問看護事業所 | ()名 | ()名 |
| その他 () | ()名 | ()名 |

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

| 許可病床数 | 受講者数 |
|-----------|--------|
| 100床未満 | (20) |
| 100～200未満 | (44) |
| 200～400未満 | (19) |
| 400床以上 | (24) |

4. 研修受講者の職位

| 職位 | 人数 |
|-------|---------|
| 看護部長 | ()名 |
| 看護副部長 | (2)名 |
| 師長 | (16)名 |
| 係長・主任 | (41)名 |
| スタッフ | (26)名 |
| その他 | (22)名 |

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

【対象】県内144病院において教育担当者・実地指導者の任にあるもの、または今後その任にあたる予定のもの。原則として4日間を通して受講できるもの。

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

- 県内144病院長あてに、郵送にて案内通知を出した。
- 看護部長会等、あらゆる機会を通して、当研修会をPRした。

Ⅲ. 研修内容に関すること

1. 受講形式

- A 全日程を受講することを基本としたコース形式
 B 講義毎に部分的に受講する形式

2. 研修プログラム

| 時期 (月) | 研修テーマ | 時間数 | 研修内容・方法 |
|-----------|------------------------|-----|---|
| 2月 | 県内の新人看護職員に関する現状を知ってもらう | 2 | 講義およびグループ討議：県内の新人看護研修制度の現状と課題 |
| 2月 | 概論：新人看護職員研修制度の理解 | 3 | 講義：新人看護職員研修に関する政策的動向と背景 |
| 2月 | 各論：新人看護職員の理解 | 2 | 講義：新人看護職員の現状（カリキュラムと実践能力の習得状況、成人学習者の特徴） |
| 2月 | 各論：部署における体制づくり | 3 | 講義と情報交換：部署における新人看護職員を教育する体制づくり（ガイドラインの理解） |
| 2月 | 各論：部署における体制づくり | 2 | 講義：部署における新人看護職員研修計画の立案と評価（ガイドラインの理解） |
| 2月 | 各論：部署における体制づくり | 3 | 講義：部署における新人看護職員研修計画の立案と評価（ガイドラインの理解） |
| 2月 | メンタルサポート | 5 | 講義：新人看護職員と支援者自身のメンタルサポート |

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員（講師、教授など大学の教員も含む） (2)名
 ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 (2)名
 施設の教育担当者(教育責任者等) ()名
 専門看護師・認定看護師 ()名
 その他 (2)名

その他の職種： 職種等(看護協会長) (1)名
職種等(県担当者) (1)名
職種等() ()名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

(4)日 (20)時間

5. 4. の内訳 講義 (16.5)時間 演習 (2)時間
その他(グループ討議) (1.5)時間 オリエンテーション ()時間

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

○県内144病院に新人看護職員の採用状況と新人看護職員研修事業の取り組み状況、問題点や課題について事前アンケートを実施し、研修会前に講師に送付し、県内の実状を理解してもらった上で講義にあたってもらった。
○研修内容として
・県内における新人看護職員の離職率が高い現状と新人看護職員研修事業の取り組みの現状を理解してもらうことに力を入れた。
・看護基礎教育との連携を重視した。
・メンタルヘルス対策は新人看護職員のみならず担当者・指導者自身のメンタルヘルス対策についての内容を盛り込んだ。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

○研修が終わったばかり(2月25日終了)で研修に対する詳細な評価はまだだが、参加者は新人看護職員研修の意義や担当者、指導者の役割は概ね理解されたように感じる。
ただ、事前アンケートの回答があった60/144病院(41.6%)では新人のいる病院の約7割が新人看護職員研修を実施しているが、回答のない病院、診療所や他の施設の状況は不明である。研修責任者研修等に参加する病院では事業の積極的な取り組みがみられる。今後、参加のない病院等にも引き続きアプローチし、新人看護職員がどの病院に入職しても、きちんとした研修体制のもとで教育が受けられる環境を目指したい。

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先(社団法人愛媛県看護協会)